

様式第1号（第6条関係）

市民活動団体提案に関する企画提案書

平成20年 7月 18日

小嶋善吉 静岡市長

所在地 静岡市清水区江尻東  
三丁目10番26号

提案者団体名 特定非営利活動法人  
日本メイン美風協会

代表者氏名 朝原

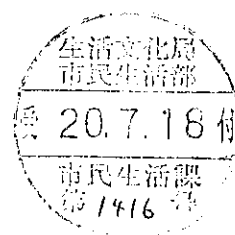


静岡市市民活動協働市場要綱第6条第1項の規定により、次のとおり、協働事業に関して提案します。

提案する協働事業 のタイトル	廃食油回収 BDF 変換事業 “CHANGE” 運動
摘要	

※ 添付書類：(2)～(5)は任意書式。(2)～(4)は同一年度内に別の提案で提出済みの場合は必要ありません。(定款や役員に大幅な変更があった場合は再提出してください。)

- (1) 市民活動団体提案の概要
- (2) 提案した市民活動団体の定款・会則等
- (3) 提案した市民活動団体の前年度の事業報告書・決算書及び当年度の事業計画書・予算書
- (4) 提案した市民活動団体の役員名簿
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類



市民活動団体提案の概要

団 体 名	特定非営利活動法人 日本メイン美風協会
提案する協働事業のタイトル	廃食油回収 BDF 変換事業 “ CHANGE ” 運動
事業の目的	<p>近年我々の取巻く環境は過去には想像もつかないような多様な物質に満ち溢れております。地域住民は使用済みの食用油等を廃棄する場合、①新聞紙等に染み込ませて生ゴミとして捨てる②凝固剤を購入して生ゴミとして捨てる③台所から流して捨てる④山林・河川・海岸に捨てる、と聞いております。</p> <p>現在一部のそのまま台所から流している人達の大きな理由は「自分の所だけは、まあいいか」と思っている家庭が多くなってしまったと推察いたします。</p> <p>環境汚染の根源を地域住民に判りやすく啓発・指導して、住民がきれいに楽しく長生きできる仕組み（環境リスクマネジメントシステムの構築）の一環として使用済み食用油をそのまま回収してバイオディーゼル燃料（BDF）に変換することで、環境改善し河川や海の美化の一躍を担うことを目的とします。</p>
事業の詳細内容	<p>NPO 法人日本メイン美風協会は、地域住民から廃食油回収を行う。静岡市全域から回収したいと考えますが、まずは、清水区全域より回収スタートいたします。具体的なマナリ一は多種に亘りますが、当協会理事長である朝原 清は長期にわたり、静岡市清水区の連合自治会副会長職に有り、静岡市清水消防団の協力会の会長職もしており、担当人口は1万人位であり、地域住民に対しての周知、啓発ができます。他地域の自治会長とも旧知の間柄で連携でき、朝原は静岡市清水区の青少年育成推進委員会の委員長も兼務し、自治会連合会の会長及び副会長、会計、監事の方々とも旧知の間柄であります。</p> <p>回収した廃食油を協賛している㈱サンメンテナンスに運搬し BDF となり循環型社会形成及びゴミ減量に貢献します。</p> <p>1、回収場所 各自治会の資源集積所 清水区（242ヶ所）</p> <p>2、回収日時 各自治会のビン・カン収集日の当日 （20日/月）</p>

	<p>3、地域住民の出し方      廃食油はペットボトルの中に入れ、持ってきてもらう。</p> <p>4、回収運搬方法      トラックでストックヤードへ運ぶ。先々ステンレス製の油入れ容器を回収場所に置ければ当協会委託のバキューム車でその場で吸い上げる。(廃PETボトルは無くなります。)</p> <p>5、管理監督      回収車が集積場所に行くまで各自治会で管理して頂く。</p>
事業期間	通年
市民活動団体と行政の役割分担に関する説明	<p>NPO 法人日本メイン美風協会が回収業務にあたる。本来静岡市全域ですが、先ず清水区で始める。自治会連合会の会長、副会長他役員の方々とは旧知の関係であるから協議し易い。</p> <p>《役割分担》</p> <p>☆ NPO 法人 日本メイン美風協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全体企画。</li> <li>② 廃油回収。【静岡市より防火管理者の認可を受けています。】</li> <li>③ 自治会、樹サンメンテナンスとの調整。</li> <li>④ 廃ペットボトルの処分。</li> </ul> <p>☆ 樹サンメンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃油受入れ。BDF 化【プラント最大値 1,000L/日、高品質のバイオディーゼル燃料（低水文値・低配分値）を製造する。】</li> <li>② BDF 販売【BDF は静岡県トラック協会等が買取る。】</li> </ul> <p>☆ 市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回収システムの調整。</li> <li>② スtockヤード用地の提供。</li> <li>③ ペットボトルの廃棄。</li> </ul> <p>☆ 自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 集積所運営。</li> </ul>

概算所要見積額	<p>(人件費) <math>\text{¥}160,000/\text{月} \times 4 \text{名} = \text{¥}640,000 \times 12 \text{ヶ月} = \text{¥}7,680,000</math></p> <p>(運搬消費費) 242ヶ所巡回及びプラント工場へ運搬する燃料費  <math>\text{¥}150,000/\text{月} \times 12 \text{ヶ月} = \text{¥}1,800,000</math></p> <p>(運営事務費) <math>\text{¥}50,000/\text{月} \times 12 \text{ヶ月} = \text{¥}600,000</math></p> <p>(合計) <math>\text{¥}10,080,000</math>—①</p> <p>《NPO 法人日本メイン美風協会 負担金》</p> <p>(回収油運搬搬入益金代) <math>\text{¥}15/\text{L} \times 108,000\text{L} = \text{¥}1,620,000</math></p> <p>(回収油数量概算公式) 清水区世帯総数 (概数) <math>9 \text{万} \times 10\%/\text{月} \times 1\text{L} = 9,000\text{L}</math> (月間)  <math>9,000\text{L} \times 12 \text{ヶ月} = 108,000\text{L}</math> (年間)</p> <p>(経費負担金詳細) 募集支援金 <math>\text{¥}4,620,000</math></p> <hr/> <p>(合計) <math>\text{¥}6,240,000</math>—②</p> <p>☆ (市に対しての負担願い金額)  <math>\text{①} - \text{②} = \text{¥}3,840,000</math> (2人分の人件費位)</p> <p>(注釈) NPO 法人日本メイン美風協会に賛同するボランティアの方々には絶大な協力をしていただけていると思いますが、ボランティアの方々は時間が自由、不定期なので、毎日の長時間拘束されての回収仕事は人件費を支払い雇用した人を核として行うものとします。</p>
	<p>清水区の資源集積場所 242ヶ所の集積日は午前6時位からビン・カンを出し始めますので、それより前の時間帯より準備行動することと成ります。</p> <p>清水区総世帯数約9万世帯、其の内の10%が1L (ペットボトルは2Lが主流で量的に少し加減した) 出した場合、月に9,000L/年間108,000Lとなり、これが目標値である。</p>

(2枚目)

事業評価に係る説明

公 益 性	<p>地域住民から廃食油を回収することで環境汚染をすこしでも抑えることができれば、住み良い地域に成るのではと推察いたします。</p> <p>環境再生推進事業の一環として、「環境リスクマネージメントシステム」(要約=人々が利便性の高い製品のなかで生活すればするほど、それと反比例するリスクが何処かで起きているのではないか。)の啓発・教育を我々コンサルタントが推進して市民の意識向上、循環型社会形成に貢献します。</p>
-------	--

<p>市の施策としての妥当性 (国・県との比較)</p>	<p>静岡市は「もったいない運動」を勢力的に展開されており、ごみ減量に取り組んで居られます。平成 19 年度の静岡市全体のゴミの排出量は 272,849t、平成 18 年度の排出量は 280,811t で 8t 減の削減率 2,8%となっています。</p> <p>現在廃食油は生ゴミとして焼却されております。紙に染み込ませたりした油、凝固剤で固めた油は固形になりますから重さは計り知れないものがあります。仮に NPO 法人日本メイン美風協会が回収目標数値を達成すれば年間 10.8 万 t の削減となり、生ゴミとして焼却されているものや、台所等から流されている油を防止することで静岡市としてゴミ減量及び環境改善になるかと推察します。</p>
<p>実現可能性 ・ 実行可能性</p>	<p>(実現可能性)</p> <p>本来は静岡市全域から回収したいのですが、まずは清水区から始めます。NPO 法人日本メイン美風協会の理事長の朝原 清は清水区の自治会連合会執行部の方々と旧知の間柄であり協調、協議していただける。</p> <p>(実行可能性)</p> <p>自治会連合会と協議して、資源集積場所の一角に廃食油収集場所を決めてもらい、静岡市からの暫定的な一時廃食油仮置き場（ストックヤード）を使用して、直近に開始できる予定です。</p>
<p>先 駆 性 ・ モ デ ル 性</p>	<p>(先駆性)</p> <p>環境改善、Co2 削減、代替エネルギーと昨今叫ばれておりますが、廃食油を回収することで環境再生への取り組みが市民と共同で考えることができ、身近なところを改善でき我々の住む地域を住みやすくできる。</p> <p>(モデル性)</p> <p>先ず清水区からモデル的に回収し、その後葵区、駿河区の最適な回収の策定にはいる。</p>
<p>摘 要</p>	

廃食油回収・BDF化フローチャート

